

KVK 埋込2ハンドルランドリー混合栓 施工説明書1

GDLK-13(-W)

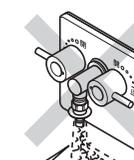
施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。
■この施工説明書はGDLK-13のイラストで説明しています。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
 - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、しては**いけない「禁止」**の内容です

 この絵表示は、必ず実行して**いただく「強制」**の内容です

警告	<p>湯水を逆に配管しないでください。</p>  <p>禁止</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。</p>	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p>  <p>禁止</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工および接合等の改造はしないでください。</p>  <p>禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>給湯に蒸気を使用しないでください。</p>  <p>禁止</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p>寒冷地仕様の場合</p> <p>水抜つまみは水抜き以外の目的で開けないでください。</p>  <p>禁止</p> <p>水抜つまみをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。</p>  <p>禁止</p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>給水ホースが接続されていない場合は、ワンタッチノズルの先端(白い部分)を押さないでください。</p>  <p>禁止</p> <p>高温の湯が出てやけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。また給水ホースが接続されていない場合は、操作レバーは必ず閉めてください。</p>	<p>取り付け後の通水は、必ずワンタッチノズルに給水ホースを接続した後、行ってください。</p>  <p>1.接続 2.通水</p> <p></p> <p>給水ホースを接続する前に通水すると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>ワンタッチノズルの圧逃しを行う場合は、操作レバーを確実に開けてからノズルをはずしてください。</p>  <p></p> <p>操作レバーが開いた状態でワンタッチノズルをはずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

警告



給湯圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合も湯側圧力を水側より低くしてください。



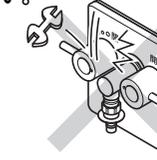
給湯圧力を給湯圧力より高くすると、正常な温度調節ができなくなり、やけどをするおそれがあります。

他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。



やけどのおそれがありますので、やけどのおそれのないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。

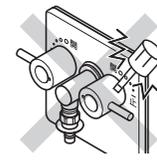
器具に強い力や衝撃を与えないでください。



禁止

器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

めっき部品は、ぶつけたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。



禁止

めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。

めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。



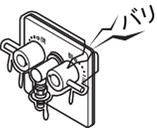


けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。

注意



凍結が予想される際は、水抜き方法に従って配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。



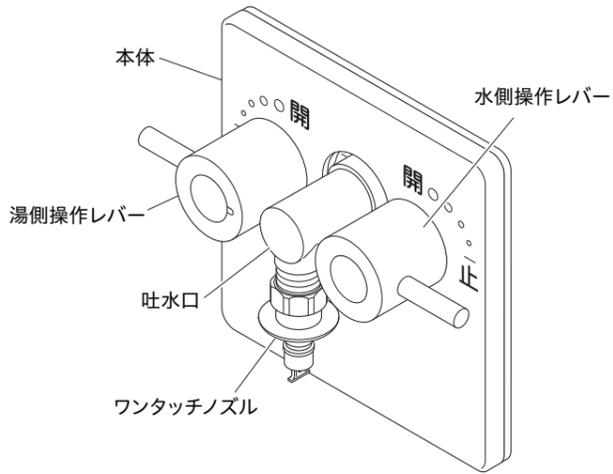
水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

取り付け前に

- ① 使用水圧 (A = (給湯器の最低作動水圧) + (配管圧力損失))
 - (1) 瞬間給湯器との組み合わせ (設定条件 水温: 25℃ 給湯器温度調節: 高温 吐水温度: 42℃ レバー全開) (比例制御式) 最低必要水圧: A+50.0KPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
 - (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ (給湯・給水圧力) 最低必要水圧: A+50.0KPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
- ② 給湯圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ③ 給湯器の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- ④ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑤ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑥ 本製品は改造(加工および接合等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑦ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

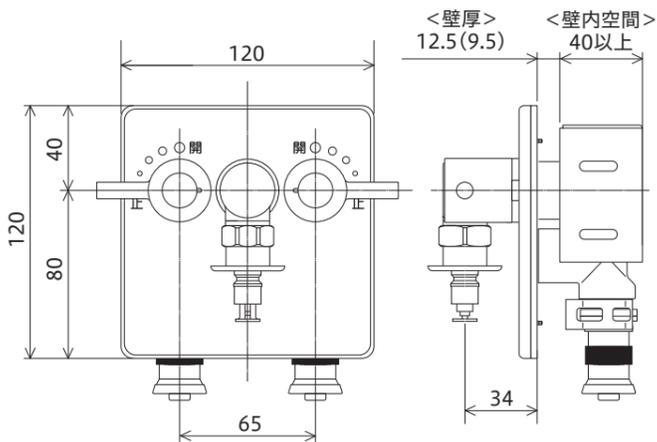
取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図 / 分解図

取り付け完成図と各部の名称

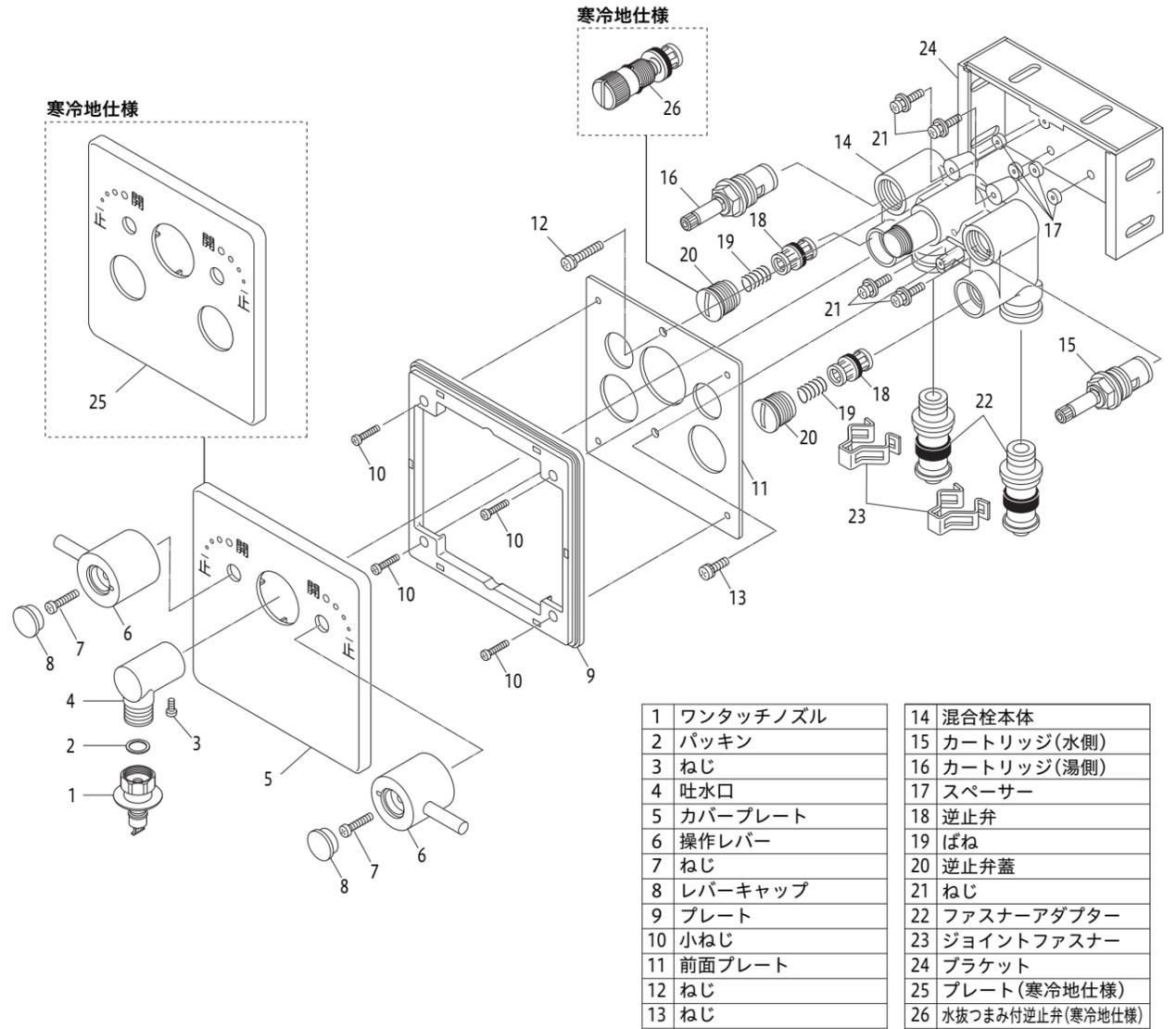


寸法図

※本製品は、壁厚12.5(9.5)mmに対応しています。
壁内空間は、40mm以上です。



分解図 この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。



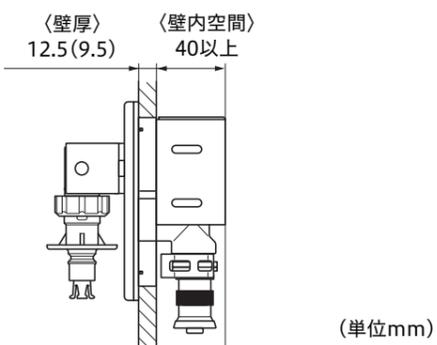
1 ワンタッチノズル	14 混合栓本体
2 パッキン	15 カートリッジ(水側)
3 ねじ	16 カートリッジ(湯側)
4 吐水口	17 スペーサー
5 カバープレート	18 逆止弁
6 操作レバー	19 ばね
7 ねじ	20 逆止弁蓋
8 レバーキャップ	21 ねじ
9 プレート	22 ファスナーアダプター
10 小ねじ	23 ジョイントファスナー
11 前面プレート	24 ブラケット
12 ねじ	25 プレート(寒冷地仕様)
13 ねじ	26 水抜つまみ付逆止弁(寒冷地仕様)

取り付け手順1

取り付け前に

寸法の確認

下記の寸法内であることを確認してください。
寸法以外では取り付けできない場合があります。
また、取り付け面の強度が十分であることを確認し、給水ホースが
確実に取り付けできる位置に水栓を取り付けてください。

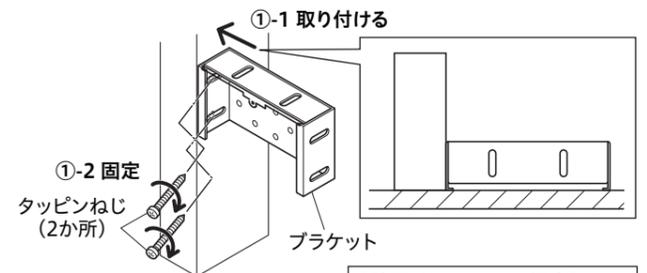


【注意】

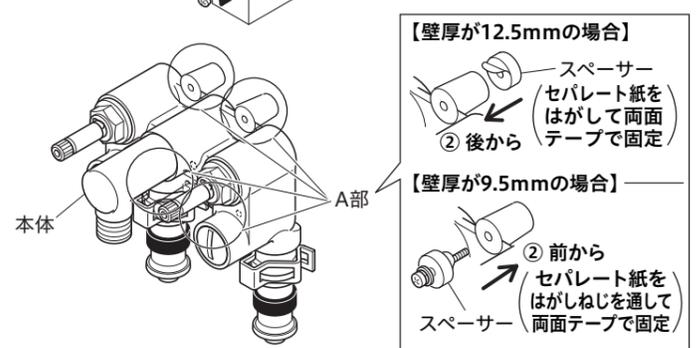
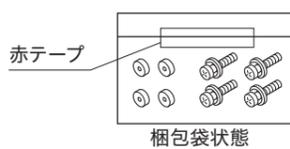
高水圧地区では水栓を急閉止すると強い水撃を発生するので、減
圧弁を取り付けてください。接続部がゆるみ、漏水により家財な
どを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

1. ブラケットの取り付け

① ブラケットをタッピンねじ(同梱)で、間柱・窓台・横棧・
補強板のいずれかに固定してください。
側面固定、上面固定、正面固定の場合があり、壁裏面とブ
ラケット表面が接することを想定して取り付けてください。

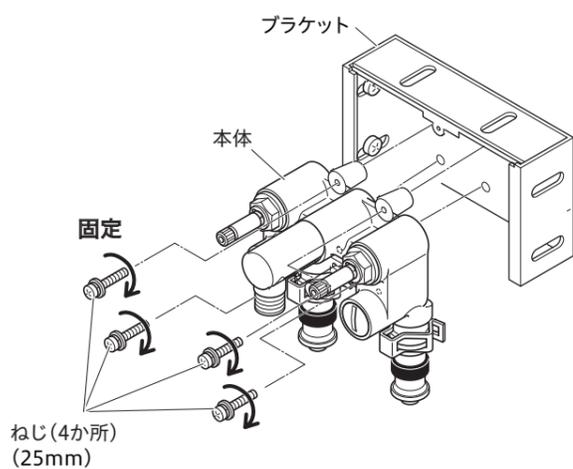


② 壁厚が12.5mmの場合
スペーサー(4個)のセパレート紙をはがし、本体A部の後
から(4か所)貼り付けてください。
壁厚が9.5mmの場合
スペーサー(4個)のセパレート紙をはがし、ねじ(25mm)
を通して本体A部の前から(4か所)貼り付けてください。



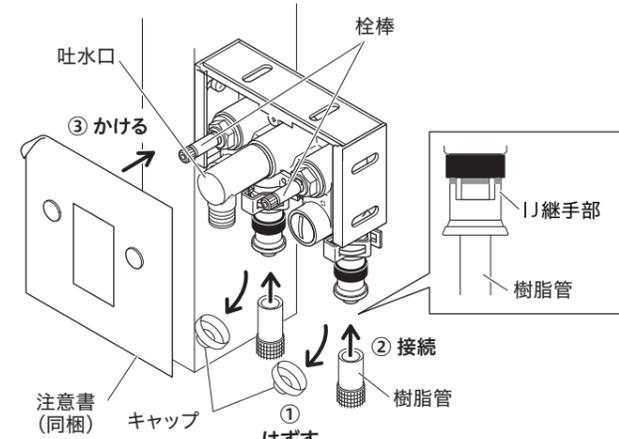
2. 本体の取り付け

本体をブラケットにねじ(4か所)にて固定します。



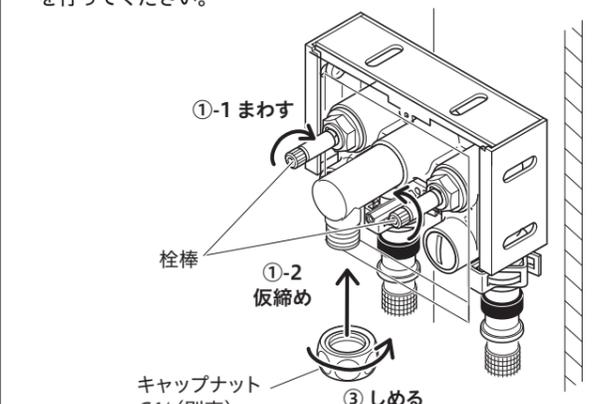
3. 樹脂管の接続

IJ継手部のキャップをはずし、樹脂管を接続し、注意書(同梱)を吐
水口と栓棒に掛けてください。(樹脂管の接続方法は、別紙「継手
の取り付け方法」を参照してください。)



4. 器具付前の耐圧検査

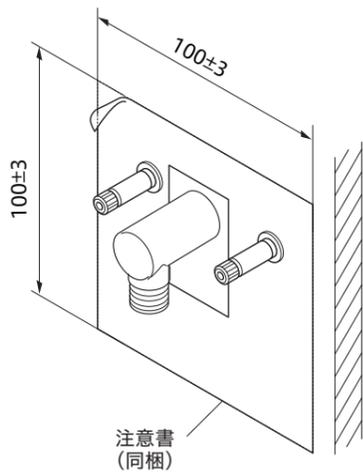
① 湯水の栓棒を回して吐水状態にし、キャップナット(G $\frac{1}{2}$)(別売)
を仮締めします。
② 配管内のエアを抜きます。
③ キャップナット(G $\frac{1}{2}$)(別売)をしっかり締め付けて、耐圧検査
を行ってください。



取り付け手順2

5. 壁の開口

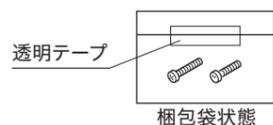
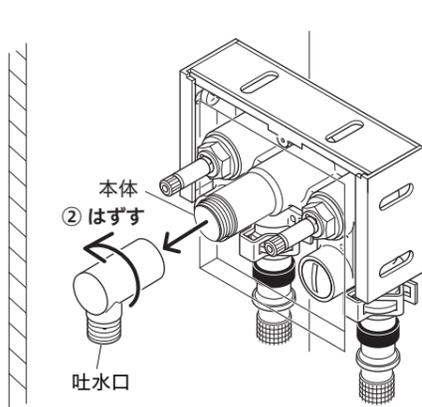
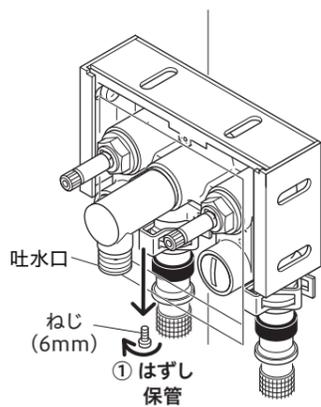
注意書(同梱)を使って、壁に縦横100±3mmの穴を開けます。



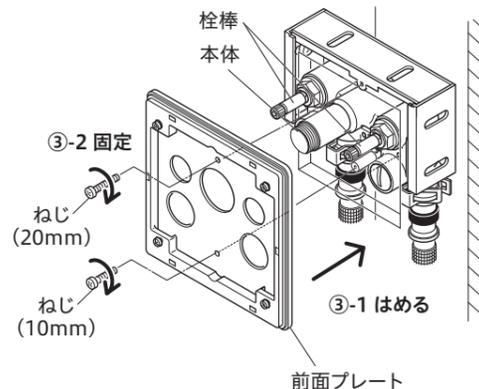
(単位mm)

6. 前面プレートの取り付け

- ① 注意書(同梱)をはずし、吐水口内のねじ(6mm)をはずします。
【△注意】ねじは後で吐水口を固定するのに使用しますので、無くさないようにしてください。
- ② 吐水口を本体からはずします。
- ③ プレート前面プレートとカバープレートに分け、前面プレートを本体と栓棒に合うようにはめ込み、ねじ(20mm)とねじ(10mm)にて固定します。



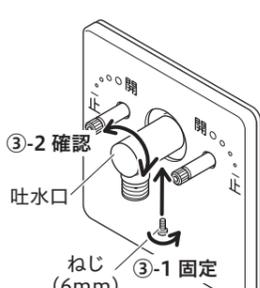
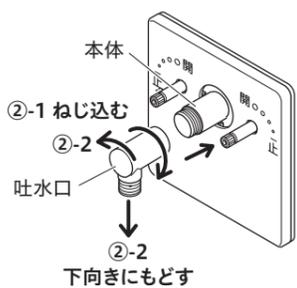
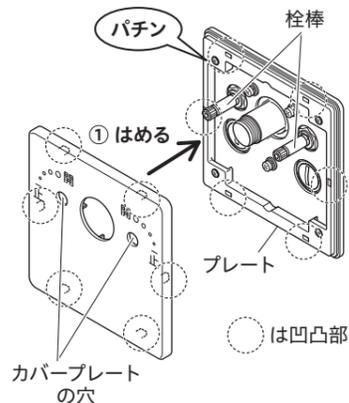
梱包袋状態



前面プレート

7. カバープレートの取り付け

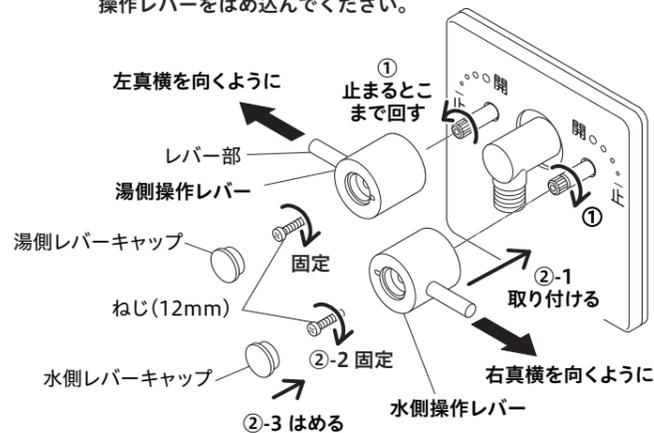
- ① カバープレートの穴が本体の栓棒にはまるようにプレートに合わせ、パチンと音がするまではめ込みます。
【△注意】カバープレートとプレートの凹凸を合せてはめてください。合っていない状態ではめ込むと、カバープレートが破損するおそれがあります。
- ② 吐水口を手で本体にねじ込み、止まったところから吐水口が下を向くように戻します。
- ③ 吐水口を吐水口の下からねじ(6mm)で固定し、吐水口が回転しないことを確認してください。



7ページ

8. 操作レバーの取り付け

- ① 湯水の栓棒が「止」の方向に回りきっているのを確認します。
- ② 操作レバーのレバー部が真横を向くように取り付けます。
【お願い】操作レバーの梱包テープは赤と青に色分けされています。テープの色を確認したうえで青は水側(右側)、赤は湯側(左側)に操作レバーをはめ込んでください。



8ページ

取り付け手順3

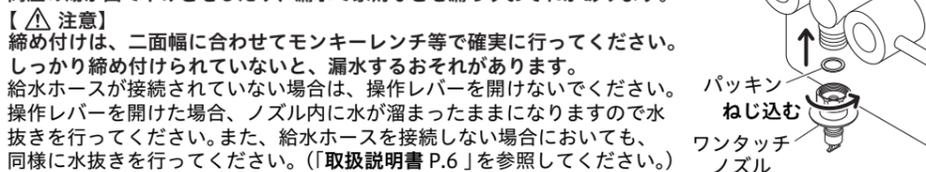
ワンタッチノズル取り付け時のご注意

- 【△警告】
 - ・本体に給水ホースを取り付けた後は、操作レバーを開けて通水し、水漏れがないか必ず確認してください。
 - ・元止式湯沸器には使用しないでください。
 - ・取り付け後の通水は、必ずワンタッチノズルに給水ホースを接続してから行ってください。給水ホースを接続する前に通水すると、高温の湯が出てやけどをしたり、湯が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - ・給水ホースが接続されていない場合は、操作レバーは必ず閉めてください。操作レバーを開けると、ワンタッチノズル内に圧力がたまり、ワンタッチノズルの「圧逃し」を行ってください。
 - ・ワンタッチノズルの先端(白い部分)を押さないでください。高温の湯が出てやけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - ・ワンタッチノズルには緊急止水機能が付いていますので、万一給水ホースがはずれた場合や給湯ホースを付けない状態では、緊急止水機能が働いて通水されません。
 - ・接続の場合は、接続する機器(洗濯機等)の給水条件及び施工上の注意事項をよくご確認ください。
 - ・水栓以降に接続された設備については保証の対象外となります。
- ・給水ホースをはずす際は、必ず操作レバーが閉まっていることを確認してください。通水中に給水ホースをはずさないでください。万一はずれた場合は、ワンタッチノズル内に圧力がたまり、再度取り付ける際、接続しにくい場合がありますので「ワンタッチノズルの圧逃し」を行ってください。

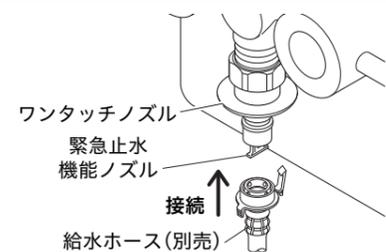
9. ワンタッチノズルの取り付け

ワンタッチノズルを取り付けます。取り付けの際は、必ず操作レバーを閉めてから行ってください。

- 【△警告】給水ホースが接続されていない場合は、ノズル先端部を押さないでください。高温の湯が出てやけどをしたり、漏水で家財などを濡らすおそれがあります。
- 【△注意】締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。給水ホースが接続されていない場合は、操作レバーを開けしないでください。操作レバーを開けた場合、ノズル内に水が溜まったままになりますので水抜きを行ってください。また、給水ホースを接続しない場合においても、同様に水抜きを行ってください。(「取扱説明書 P.6」を参照してください。)



10. 給水ホースの接続(給水ホースは本製品に同梱されていません。別売です)



給水ホース(別売)について
【△注意】日本電機工業規格「EM1206」に合致しない給水ホース継手は使用しないでください。通水不良や水漏れのおそれがあります。

その他の接続例
水栓の先端のワンタッチノズルは取りはずしができます。この場合、緊急止水機能は動きませんので注意してください。

G $\frac{1}{2}$ のナット(別売)が接続できます。
ホースニップル(別売品番:Z907)が接続できます。

水栓
ワンタッチノズル
ホースニップル(別売品番:Z907)

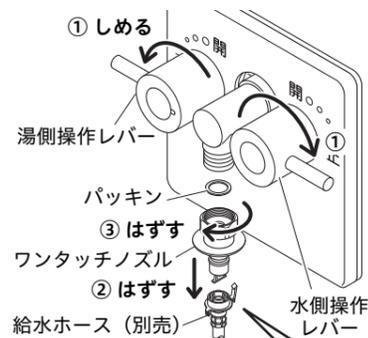
【△注意】ホースニップルの接続先では止水しないでください。ホースが抜けるおそれがあります。

9ページ

ワンタッチノズルの圧逃し方法

万一通水中に給水ホースがはずれた場合は、ワンタッチノズル内に圧力がたまり、再度取り付ける際、接続しにくい場合がありますのでワンタッチノズルの圧逃しを行ってください。

- ① 湯・水の操作レバーをしっかり閉めます。
- 【△警告】湯・水の操作レバーは確実に閉めてください。開いた状態でワンタッチノズルをはずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ② 給水ホースをはずします。
- ③ ワンタッチノズルをはずし、圧を逃します。
- ④ 圧逃し後、給水ホースは下記の手順で取り付けしてください。



【給水ホースの取り付け】

- ④ 給水ホース継手を引き下げながら差し込み、ロックレバーをつば部に引っ掛けます。取り付け後、ホースを真下に引っ張って抜けないことを確認してください。

- 【△注意】給水ホース取り付け後、確実に接続されていること、接続部から漏水がないことを必ず確認してください。確実に接続されていないと、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。



取り付け後の点検と清掃

通水確認

- 【△注意】水栓を取り付け後、耐圧検査を行ってから通水して湯水の出し止めを5〜6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

故障かなと思ったら...

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
吐水量が少ない	ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
低温しか出ない	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
温度調節がうまくできない	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
給水ホースがはずれた状態で湯水が出ない	緊急止水機能が働いて通水されないしくみになっています。故障ではありません。給水ホースを再度取り付ける際、接続しにくい場合がありますのでワンタッチノズルの圧逃しを行ってください。		10ページ「ワンタッチノズルの圧逃し方法」

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

- 【△注意】修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

10ページ